

2010年の電波伝搬実験を振り返って

de JA1RIZ

今年の実験移動は、9ポイントからの参加、及び2ポイントは、移動したものの交信不能のため移動局に変更という結果でした。そのほか6エリア、8エリア局からの参加局も各1局ありました。参加局は20局を超え、近年では最も多い参加局数でした。何はともあれ、無事に終了することができました。天候等でたいへんなところもあったと思われませんが、如何でしたでしょうか。

そして、コントロール局はじめ各局お疲れさまでした。

各局の最大の関心事である心積もりの最長距離交信はいかがでしたでしょうか。とりあえず、暫定結果として次の様に結果発表いたします。

(1) 最長距離交信 (暫定結果) (ML局~ML局)

順位	移動局 A	移動局 B	相互距離(km)
1	JA1UPE/1 箱根	JR2CTR/2 青山高原	264.7
	JR2CTR/2 青山高原	JA1UPE/1 箱根	264.7
2	JA1RTS/1 戸田市	JA1UPE/1 箱根	181.5
3	JA1VWB/1 瑞穂町	JA1UPE/1 箱根	173.1

1位のJA1UPE/1 ⇔ JR2CTR/2 は相互に、RS 52/52で交信が出来ました。伝搬経路に海上伝搬を持ったものの強みの結果といえるでしょう。見通し距離は相互の標高 (h1=980m, h2=750m 程度) から約242Kmと計算されるため、海上伝搬であり、見通し外伝搬といえます。

***電波の見通し距離・計算式 $d = 4.12 (\sqrt{h_1} + \sqrt{h_2})$ [km] ***

2位は陸上伝搬で見通し外通信(見通し距離: 約138.2Km)ですがRS/RS=54/58とFBなRPTです。また、3位は見通し内距離(見通し距離: 約186.4Km)であり遮へいの影響が少なかったということでRS/RS=59/58とFB-QSOが成立しています。

今年は、6/8エリアからの参加により、Es交信も期待されましたがCONDXのタイミングずれにより残念でした。

又、JJ1SXA/7 福島・二本松~JA1UPE/1 箱根およびJF1ZFC/1 横須賀・観音崎~JR2CTR/2 は交信に至らなかったものの320~390km台のBig-DXができた可能性がありましたが、残念ながら幻のQSOになりました。

尚、コントロール局の最長伝搬距離は次の通りでした。

コントロール局	移動局	相互距離(km)
JA1WOB/1 赤城山	JR2CTR/2 青山高原	332.1 km

(2) 最多ポイント交信

今回の最多ポイントは、やはり1エリアで飛びの良い所ということになりました。移動ポイントの中心部のポイントが有利という結果です。

順位	移動局	ポイント数
1	JA1VWB/1 六道山・小澤ポイント	6
1	JA1UPE/1 箱根・大観山	6
2	JA1FYQ/1 南房総市	5
2	JA1RTS/1 戸田市	5

なお、コントロール局は番外であります。交信可能ポイント13と多く、FBなポイントといえます。

(3) その他

新たにコントロール局を担当のJA1WOB・JE1PPG局お疲れ様でした。

移動したポイントは、徒歩移動ということで大変だったと思いますが、多数のポイントのコンタクト可能であり、場所としてはFB-POINTと思います。



技術講習会では、今年の伝搬実験の結果についてのご意見、提案、感想などよろしくお願ひ致します。

ここ数年はドン底・ドン底といわれてきましたが、やっとコンディションが上がってきたようです。更にこれからが上昇の時期でもありますので、今後に期待致しましょう。

(私ごとですが、今年は計画・準備・当日の関わり等に少しもタッチすることを得ず恐縮しております。しばらくこのような状態が続くことと思ひますがよろしくお願ひ致します。)

以上
2010.06.27 出稿